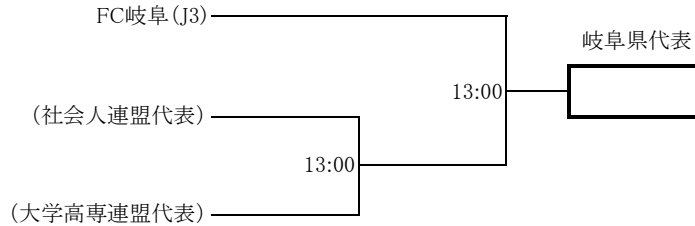


第30回(2025年度)岐阜県サッカー選手権大会要項
(兼 天皇杯 JFA 第105回全日本サッカー選手権大会岐阜県代表決定戦)

- 1 主 催 一般財団法人岐阜県サッカー協会
2 共 催 共同通信社・岐阜新聞社
3 主 管 一般財団法人岐阜県サッカー協会 1種委員会
4 大会 期 日 準決勝:4月19日(土)・決勝:5月10日(土)
5 会 場 新日本ガス球技メドウ
6 組 合 せ

4月19日 5月10日
新日本ガス球技メドウ 新日本ガス球技メドウ



7 大会 規 定

- (1) 競技規則 (公財)日本サッカー協会制定の2024/2025の競技規則を適用する。
- (2) 試合時間 90分以内(HTインターバル15分)に勝敗が決しない場合には、即PK方式により次回戦進出チームを決定する。ただし、決勝戦は規定試合時間内で勝敗が決定しない場合、30分間(前後半各15分)の延長戦を行う。延長戦で勝敗が決しない場合は、PK方式により都道府県代表チームを決める。
- (3) 参加資格 (公財)日本サッカー協会登録及び本大会に参加申込を完了した第1種加盟登録チーム及び(選手登録数)当該チームの登録選手とする。本大会の選手登録数の上限は1チーム40人以下とする。
(クラブ申請制度の適用) エントリー後の選手登録の変更は認めない。
(公財)日本サッカー協会が別に定める「クラブ申請制度」を適用する。クラブ申請が承認された場合、当該クラブの第2種、第3種又は第4種チーム(以下、「下位種別チーム」という。)に登録された選手は、下位種別チームに登録したまま、当該クラブの第1種チームの試合に出場することができる。
- (4) 選手交代 9名登録中の5名までとする。交代回数は各チーム最大3回までとする。(ハーフタイムは除く)決勝戦で延長戦となった場合に限り、5名に追加してもう1名の交代を認める。延長戦に入った場合は、その前の90分と合計して6名・4回まで交代を認める。脳震盪による交代(再出場なし)を適用する。
- (5) 警告・退場 退場選手は次の公式戦1試合の出場停止とし、以後の措置は本大会の規律フェアプレー委員会の裁定に従う。
- (6) テクニカルエリア 設置する。戦術的指示はテクニカルエリア内から都度1名が伝えることができる。
- (7) ベンチ人数 交代要員9名と事前に届けられたチーム役員7名(合計16名)とする。
- (8) 試合用ボール マルチボール方式とし、運営側で用意する。
- (9) ユニフォーム Jクラブは、(公社)日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)のユニフォーム要項により認められたユニフォームのみ着用できる。
Jクラブ以外のチームについては、ユニフォーム(シャツ、ショーツ、ソックス)がチームで統一された色のものを着用すること。また、色違いのものを別に一式用意すること。
シャツの前面・背面に選手番号を付け、選手はエントリー表にて届け出た番号のユニフォームを着用すること。背番号は1から99番までの番号とする。0番は認めない。100番以上の番号については、チームの選手登録数が100人以上いるチームの場合は認める。
上着の下にシャツを着用する場合、各袖の主たる色と同じ色で1色とする。また、各袖とまったく同じ色の柄であること。ショーツの下にタイツを着用する場合、ショーツの主たる色または裾の色と同じであること。その場合、同一チームの競技者が着用する場合、同色のものとする。

ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同色とする。主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チームの立ち合いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。ユニフォームに広告を掲示する場合は、(公財)日本サッカー協会の規定を遵守し、承認されたユニフォームを着用することができる。

- (10) 監督会議 各試合の120分前までに「メンバー提出用紙」に必要事項を記入し、全選手の選手証とともに本部に提出すること。70分前に本部室にて監督会議を行う。監督会議の出席はチーム監督を含め2名以内とし、ユニフォームの正副一式を持参すること。
- (11) 優勝チーム 天皇杯JFA第105回全日本サッカー選手権に出場する権利を与える。
- (12) 大会参加料 11,000円/1チーム。徴収した参加料については理由の如何に拘らず返却しない。
- (13) 選手証の確認
※選手登録に疑義が生じる場合に確認をする。 各チームの登録選手は、(公財)日本サッカー協会発行の選手証を持参すること。選手証とは、(公財)日本サッカー協会WEB登録システムKICKOFFから出力された選手証・登録選手一覧表を印刷したもので、顔の写真が添付されたものであること。
- (14) 外国籍選手 参加チームは本大会に5名までの外国籍選手を参加申込することができる。そのうち、試合にエントリーできるのは3名までとする。ただし、Jリーグ(J1・J2・J3)に所属するチームにおいては外国籍選手の人数に制限を設けないものとする。また、試合にエントリーできる外国籍選手の1チームあたりの上限は、J3チームは4名とする。なお、タイ・ベトナム・ミャンマー・カンボジア・シンガポール・インドネシア・マレーシアの国籍を有する選手は、Jリーグ提携国枠の選手として外国籍選手ではないものとみなす。

8 本大会の規律フェアプレー委員会を下記のとおり設置する。

委員長: 県規律フェアプレー委員長(森 進一)

委員 : 1種社会人委員長(岩村 宣明)・1種大学委員長(上田 真也)・県審判委員長(小森 徳浩)

9 不測の事態により大会が開催されない場合の措置

- ①大会自体が開催されない場合、出場チームの当該年度最上位カテゴリーチームを岐阜県代表チームとして選出する。
- ②1回戦が開催されない場合、昨年度の準決勝勝者チームとなったカテゴリーチームを次回戦進出チームとする。
2024年度は社会人チームが準決勝を勝ち上がったため、上記の場合、社会人チームが次回戦進出チームとなる。
- ③決定戦(決勝戦)が開催されない場合、当該年度の最上位カテゴリーチームを岐阜県代表チームとして選出する。
- ④その他の事項については、社会人連盟および大学高専連盟内で協議し決定する。